

蘇る—にいがたの生活—

家族と身体からだの記憶

地域映像

アーカイブ

題字、鶴田逸亭

にいがた地域映像文化遺産 展覧・上映イベント

地域映像の力 - 新潟からの情報発信とアーカイブ構築をめざして

日時：2009年2月7日 **土** 13:30—16:50 開場 13:00

場所：新潟県民会館 小ホール TEL：025-228-4481

会場ロビーにてスライドによる映像展覧をおこないます

参加：一般公開・無料（FAXでの事前の申込みが必要です・裏面をご覧ください）

新潟の地には、押入れや蔵の中に大切に仕舞われている古い資料、とりわけ写真やフィルムが多く生き残っています。新潟大学は、このような地域の映像文化遺産の調査・発掘、保全・保管と閲覧を目的とした仕組みやルールづくりの拠点、すなわち「地域映像アーカイブ」の拠点を目指しています。

このたび、新潟の皆様にごこうした地域の映像文化遺産の価値を知っていただき、ご協力を呼びかけることを目的として、地域映像文化遺産から見えてくるかつての地域生活と文化の魅力、「地域映像アーカイブ」の構築に向けた専門家や地域の写真館による様々な取り組みをご紹介します。また、新潟大学が調査を行い、今回特別に公開を許された秘蔵の地域映像を展覧・上映いたします。

第一部 甦る!六日町の映像文化遺産

新潟県六日町を舞台とした地域映像文化の製作者たち、今成無事平・新吾（明治初年）、高橋捨松（明治末から大正期）、そして平賀洗一（昭和十年代）、彼らの映像文化遺産の魅力をご紹介します。

第二部 地域映像アーカイブ構築のためにすべきこと

専門家や地域の写真館による地域映像アーカイブ構築のさまざまな取り組みをご紹介します、地域映像文化遺産の継承による「ひとづくり」と「まちづくり」、そして地方からの情報発信の可能性を議論します。

地域映像アーカイブ

新潟大学 人文学部 教授 原田健一

今日、わたしたちは日常的に大量の映像情報と接しながら生活しています。近代日本における中央一極集中型の社会構造の中で、情報の制作や発信、流通における中央と地方との間の格差は、ますます大きくなるばかりの様にも思えます。しかし、そうした氾濫する映像の中にも、今回、皆様にご紹介する六日町の写真、映画のように地域の視点から作られた魅力的で豊かな映像、地域文化と深く関る映像コンテンツも沢山あります。ただ、わたしたちが知らないだけなのです。

新潟大学は、新潟県内で制作された地域映像を調査・発掘し、保全・保管、閲覧の為の仕組みやルールづくり、またデータベースの構築など「地域映像アーカイブ」の構築にむけた取組みを始めました。もとより、新潟の地域映像文化遺産についての情報発信、またそうした遺産を継承し、有効に活用するための連携体制の構築など、地域の皆様のご理解とご協力がなくては新潟大学一機関で行えるプロジェクトではありません。また、新潟の地域映像文化遺産は、新潟県内のみならず、世界各地の思ってもみないような図書館、美術館、博物館などに所蔵されていることもあります。「地域映像アーカイブ」の構築には、ローカルでありつつも、グローバルなネットワークが必要なのです。

皆様には、是非ご関心をお持ちいただき、この機会に奮ってご参加いただけますよう、またお手持ちの地域の映像文化遺産に関する情報などございましたら是非お知らせいただけますようお願い申し上げます。

1. 甦る!六日町の映像文化遺産

|報告| 金子隆一 (東京都写真美術館)

石井仁志 (写真研究家)

平賀壮太 (前熊本大学教授)

|司会| 石田美紀 (新潟大学)

2. 地域映像アーカイブ構築のためにすべきこと

|報告とディスカッション|

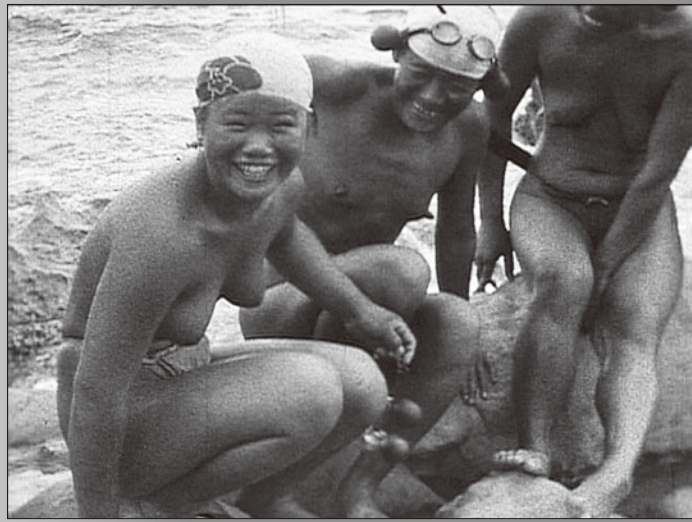
北村順生 (新潟大学)

吉原悠博 (吉原写真館、六代目)

岡田一男 (下中ECアーカイヴズ)

榎木 章 (フィルムセンター)

|司会| 原田健一 (新潟大学)



平賀洗一 (1902～1980)

六日町にて生まれ、東北帝国大学医学部を卒業後、北海道旭川にて病院勤務。1931年六日町に戻り医院を開業。以後、六日町の文化人として映画、演劇、絵画、考古学とさまざまな分野で活躍。1935年から1938年にかけて集中的に映画を製作、六日町や地域の民俗を記録した。(上写真は、1937年に制作された海女の記録映画より)

高橋捨松 (1863～1930)

六日町の旧家、高橋家の十代目。六日町の地主の一人として、進取に富んだ気風をもち、幅広く事業を展開した。写真もそうした精神の現れであり、現在、高橋家には千枚以上のガラス乾板が残されている。(左中写真は、高橋捨松三女あきら)



今成 無事平 (~1881)・新吾 (不明)

六日町、今成家の十九代目。今成家は江戸時代、年寄役を務める家柄。無事平は明治時代には戸長、学区衛生取締役、徴兵議員となり、村会議員、県会議員を歴任。一方で、詩文和歌発句を好み特に狂文狂歌を得意とした。新吾は、その無事平の弟。(左下写真は、自らを被写体にしたパフォーマティブな写真の連作からの一枚)



お問合せ先

参加ご希望の方は、下記の申込票で FAXにて下記までお申し込みください

新潟大学・国際学術サポートオフィス

TEL : 025-262-7631

FAX : 025-262-7519

globalstrategy@isc.niigata-u.ac.jp



参加申し込み票 FAX:025-262-7519

お名前： _____

所属： _____

ご連絡先 (Email もしくは TEL/FAX) : _____